

鹿島小だより

第47号 平成30年11月28日(水)発行 文責: 鈴木

【電話】0244-46-2240 【ホームページ】<https://minamisoma.fcs.ed.jp>

平成30年度重点目標「話し合おう やってみよう」

オリジナル小物入れができたよ



3年生は図工の時間に、「ハッピー小物入れ」という題材に取り組みました。この授業は、空き箱やカップ、トレイなどを使って自分の使いたい形を作り、その周囲に紙粘土を利用して模様を付けて小物入れを作る活動です。白い紙粘土に絵の具で色を付けたり、マジックで模様を描いたり、ビーズやモールなどで飾りを付けたりして、粘土の色や飾りの組み合わせを工夫しました。紙粘土は

放っておくとだんだん固まってくるので、作業はてきぱきと効率よく進める必要があります。子どもたちはいろいろなアイディアを出しながら、自分なりの小物入れ作りに取り組んでいました。自分で作ったお気に入りの小物入れを使うと、きっと毎日の生活が楽しくなることでしょう。

健康な歯で過ごすために

19日(月)には原町保健センターの歯科衛生士・和田さんと早川さんにお越しいただき、5年生を対象に歯肉炎とその予防についての授業を行いました。高齢になって歯を失う主な原因はむし歯と歯周病で、歯周病の軽い状態を「歯肉炎」と言います。10～14歳の4人に1人が歯肉炎の疑いがあるという統計も出ており、歯茎の色や形、感触などで自分でも判断できるそうです。また、歯肉炎の



段階でも自分で治せるブラッシングの方法を教わりました。歯ブラシでゴシゴシこするのではなく、軽く振動させる程度で1か所20回くらいブラッシングすると良いことや、この方法を2週間くらい続けると、歯茎がしまってきて色もうすいピンク色になってくることなどを教わりました。健康な自分の歯でいつまでも過ごせるように、今のうちから正しいブラッシング方法を身に付けてほしいと思います。 《裏面もご覧ください》

インフルエンザに注意しましょう



今シーズンも、各地でインフルエンザの流行が始まりました。福島県内ではまだ目立った流行はありませんが、県教育委員会ではインフルエンザ対策として、下記のような注意喚起をしています。学校でも、担任や養護教諭が子どもたちの体調管理に努めていますが、ご家庭でも十分に注意していただき、流行しないようにみんなで気を付けていきましょう。体調が思わしくない時は無理をしないで、ゆっくり体を休めたり早めに医療機関を受診したりして、症状が重くならないように注意しましょう。

他の人への感染を防ぐため、「咳エチケット」をキーワードとした普及啓発活動を行い、マスクの着用や人混みにおいて咳をする際の注意点について呼びかけています。

- 1 咳やくしゃみが出る場合は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
 - 2 鼻汁や痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。
 - 3 咳をしている人がいたら、マスクの着用をお願いしましょう。
- ※ 咳エチケットを心がけることは、周囲にウイルスをまき散らさない効果があるだけでなく、周りの人を不快にさせないためのマナーにもなります。

なお、医療機関で「インフルエンザ」との診断を受けた場合には、必ず学校へ連絡してください（欠席ではなく出席停止扱いになります）。インフルエンザによる出席停止期間は、法令で「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児は3日）を経過するまで」と定められています（医師の指示がある場合は、この限りではありません）。判断に迷う場合は、医療機関または本校養護教諭までお問い合わせください。